

こどもの読書週間 4/23 (日) ~5/12 (金)

期間中は子ども向けのイベントを開催します。家族や友達同士で図書館に遊びに来ませんか？
※内容が変更になることがあります。詳しくは館内のチラシまたは図書館ホームページをご覧ください。

4/23 (日)

ブラックパネルシアター

11:00~11:30
文化フォーラム春日井
会議室

腹話術と楽しい手品

13:30~14:00
文化フォーラム春日井
会議室

期間中毎日

本の福袋

図書館 3階

1日3セット限定！
中身はお楽しみみの3冊セット。

4/30 (日)

図書館のなぞときラリー

10:00~11:00
図書館内

点字図書の作成

~自分の名前や文章を
点字で打ってみよう~

13:30~15:00
図書館内

本の音訳ってどうやるの？

~自分の声を録音してみよう~

15:00~16:00
文化フォーラム春日井 文化活動室

【4月12日までHPで申込受付】

小学生が学ぶ、読み聞かせ教室

文化フォーラム春日井 文化活動室

4月30日(日)(講座)、5月7日(日)(発表)

読み聞かせをやってみたい小学生が対象です。

5/7 (日)

あおぞらおはなし会

10:30~11:00
文化フォーラム春日井
スカイフォーラム

ワクワク！ よみきかせ駅伝

13:00~14:30
文化フォーラム春日井
会議室

小学生による 読み聞かせ

15:00~16:00
文化フォーラム春日井
会議室

小学生のお兄さんお姉
さんが、読み聞かせを
してくれます。



おすすめ本紹介

探検 発見

お日さまポカポカ、そんな日は、“チョコッと探検・ステキな発見”してみませんか？



『街なか葉めぐり虫さんぽ』

とよさき かんじ/著 ベレ出版 486.1/マ/22 (図書館4階一般)

こどもの頃はダンゴムシやバッタを素手で捕まえていたのに、いつの間にか虫が苦手になっていませんか？

身近な種類の虫と植物がたくさん登場するこの本を片手に、植物やそこに住む虫をじっくり観察してみましょ。植物と昆虫のちょっと不思議な関係を知り、ご近所にもある生物の多様性に気づけば草木や虫たちがより愛おしくなること間違いなし。さあ、虫と植物のワンダーランドにくりだそう!!

『ブラタモリ 15 名古屋 岐阜 彦根』

NHK「ブラタモリ」制作班/監修 KADOKAWA

291.09/フ/18-15 (図書館3階実用、ふじとう)

尾張名古屋と言えは“ものづくり”。その基礎は台地を利用した名古屋城築城と地形を活かした家康の町づくりにあったとか。名古屋市内をブラブラ歩いてみると、道の曲がり具合や高低差、堀川が現在の経済発展の礎となっている様子など、家康のすごさがわかります。一方、岐阜では、金華山山頂の岐阜城天守から濃尾平野を眺めれば、平和で豊かな町を築こうとした信長の想いが感じられるかも…。

二人の武将の夢の跡を発見しに出かけましょ!!

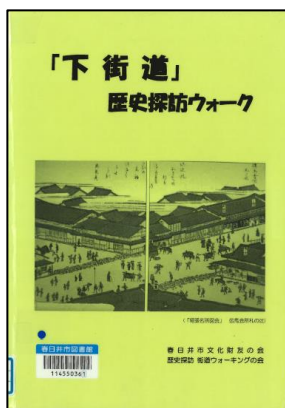


『下街道歴史探訪ウォーク』

村中 治彦、春日井市文化財友の会/監修

歴史探訪街道ウォーキングの会/編集

A682/シ/18 (図書館4階春日井郷土)



“下街道”（したかいどう）をご存じですか？江戸時代“庶民の道”として伊勢神宮や木曾御嶽山、信濃善光寺参りの旅人や商人たちがたくさん行き来していた街道です。

その“下街道”の歴史と発行当時（平成26年）の街道の姿を知ることができ本書は、現在と少し違う箇所もありますが、ふるさと春日井のウォーキングガイドとしておすすめです。歩いて探訪して春日井愛を深めましょ!!

おすすめ本紹介

アロマテラピー

澄みきった空、小川のせせらぎ、春の花の香りに誘われ、踊り出すような季節ですね。アロマテラピーをご存じでしょうか。そうです、香りの有効活用とでもいえば、わかりやすいでしょうか。ちょっとした工夫で気分の良い空間が演出できます。紹介する本を参考に、いろいろな方法で、植物の香りをエンジョイしましょう。

『アロマテラピー図鑑 最新4訂版』

佐々木 薫/監修 主婦の友社

499.8/ア/19 (図書館 3 階実用)

アロマテラピーとは何か、基礎を知ることができます。精油を理解するのに役立つ141種の精油のプロフィールが掲載されています。また、精油を使い始める前に、知っておきたい取り扱いの注意点についても紹介しています。



『実践! アロマ健康法』

高島 享子/著 教育評論社

499.8/シ/10 (図書館 3 階実用)

植物から抽出した香り成分である精油（エッセンシャルオイル）を使って、心身のトラブルを穏やかに回復し、健康や美容に役立てていく自然療法として、アロマテラピーを紹介しています。

『あした、ハーブを植えよう』

山本 真理/著 光村推古書院

617.6/ア/20 (図書館 3 階実用)

精油のもととなる植物、ハーブは、お茶や香辛料として楽しむだけでなく、ちょっとした体の不調改善、美肌づくり、また、おそうじにも役立つ万能な存在。8種類のハーブを使いこなすための知識やテクニック、栽培のヒントを紹介しています。



おすすめ本紹介

図書館でお会いしましょう

図書館で本を探していると思いがけない人との出会いがあります。今まで名前さえも知らなかったのに、その本を読むことでいろいろな世界があり、考え方があるのだとわかります。そんな素敵な人達にあなたも会ってみませんか？



『目が見えない白鳥さんとアートを見に行く』

川内 有緒/著 集英社インターナショナル
706.9/メ/21 (図書館4階一般)

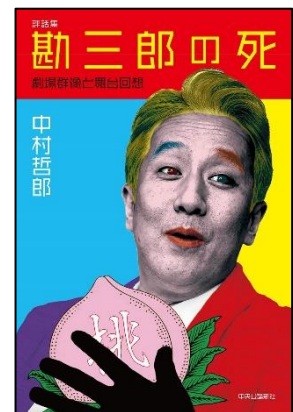
全盲の白鳥さんがどうやってアートを見るのだろう。そんな単純な思いから読み始めたのが、この本でした。白鳥さんの前向きな生き方と、著者のどこまでも自然な態度から、芸術を鑑賞するだけでなくその後ろにある大事なことが分かってきます。話をすることが大事、という白鳥さんの言葉にはっとさせられます。

『勘三郎の死』

仲村 哲郎/著 中央公論新社 774/カ/20(図書館4階一般)

ミステリアスなタイトルと、アバンギャルドな装丁からは想像できない歌舞伎の世界を表した一冊です。読み進むうちに、この世界の奥深さを知ることができ、十八代目中村勘三郎の姿が立体的に現れてきます。

舞台での流れるような科白と所作は一度見たら忘れられないほどの美しさでしたが、その後ろにある思いを知ること、改めて57歳というその早すぎる死を残念に思わずにはいられません。



『アジア人物史 7、8』

姜 尚中/総監修 集英社 282/ア/22-7,8 (図書館4階一般)

古代から近代にかけてのアジアを中心に、ここを駆け抜けた人々を「交流」というキーワードに従って時代順に紹介する全12巻。(2022年に7、8巻から刊行開始。)

ドラマや小説でも注目された北条泰時、徳川吉宗、乾隆帝、光海君はもちろん、初めて名前を聞く人物もいてどんなふうに関わってくるのか興味がわいてきます。刊行は2024年まで続きますが、一人でも自分の心に響く人物に出会えたらと期待できる一冊です。

